

各位

会社名 テックファームホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 CEO 永守 秀章  
(コード番号: 3625 東証グロース)  
問合せ先 経営管理部長 松本 圭太  
(TEL. 03 - 5365 - 7885)

## 上場維持基準の適合に向けた計画

当社は、2022年6月30日（以下、「基準日」といいます。）時点において、グロース市場における上場維持基準に適合しない状態となりました。下記のとおり、上場維持基準の適合に向けた計画を作成いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の基準日時点におけるグロース市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなり、時価総額については基準に適合していません。当社は、下表のとおり、時価総額に関しては2024年6月期までに上場維持基準に適合するために、次の通り各種取り組みを進めてまいります。

	流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式比率	時価総額
当社の状況 (基準日時点)	52,915 単位	23 億円	70.4%	33 億円
上場維持基準	1,000 単位	5 億円	25%	40 億円
計画期間	—	—	—	2024年6月末

※当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

#### 2. 上場維持基準の適合に向けた取り組みの基本方針

当社グループは、「最先端のテクノロジーと創造力で、産業の変革をリードします」というミッションを掲げ、ICT ソリューション事業の安定的な収益確保と農水産物輸出ソリューション事業を始めとした産業向け DX 事業の創出、拡大に経営資源を投資することにより持続的な企業価値の向上を図り、上場維持基準への適合を目指してまいります。

#### 3. 上場維持基準に適合していない項目ごとの課題と取り組み内容

当社グループは、親会社株主に帰属する当期純損失を継続して計上しており、安定的な利益を獲

得するに至っておりません。当社グループの業績が不安定であることから、当社の株価が低迷し、グロース市場が求める時価総額の基準を達していないと認識しております。

このような状況のもと、持続的な企業価値の向上に向けた取り組みは以下のとおりであります。

#### ・事業基盤の強化・収益力の強化

当社グループの主力である ICT ソリューション事業を安定的かつ持続的に成長させるために、案件規模の引き上げ、エンジニアや外部パートナーの獲得等の人員体制強化、品質管理の課題等を重点施策とし、事業基盤及び収益力の強化を図ることで企業価値の向上を狙います。また、先端技術（AI、5G、VR/AR/MR 等のスマートデバイス連動、画像音声認識）を活用した案件は大企業を中心に再び活発化しており、これら案件の受注を積極的に増やし、売上の拡大と利益率の向上を目指します。

当社グループの産業向け DX 事業の 1 つである農水産物輸出ソリューション事業は、アジア進出を目指す日本国内の中小生産者、卸売事業者向けソリューションとして提供する海外販路開拓支援サービス『コネクトアジア』を 2022 年 6 月期より販売開始いたしました。今後は複雑な輸出関連業務をすべて代行し、現地のマーケティングや中長期なブランディングまで一貫してサポートできる体制の確立、政府機関、地方公共団体や地方銀行との連携による営業強化に取り組み、収益化を図ってまいります。

また、中長期的な目標として、開発体制の強化のためのエンジニア人材の確保や、事業間シナジーや産業 DX によるイノベーションが見込める分野への M&A や資本業務提携を検討し、事業規模の拡大、収益構造の変革に取り組んでまいります。

#### ・IR 活動の強化

企業価値を向上させるとともに、投資家の皆様へ企業認知を高めるため、機関投資家へ向けた決算説明会や、タイムリーな情報開示のほか、当社への興味・関心を持っていただけるような PR 活動による積極的な情報開示に努めてまいります。

#### ・株主還元

当社は、株主に対する利益還元を重要な経営課題と位置付け、財務体質の強化及び積極的な事業展開に備えるため必要な内部留保を確保しつつ、業績に対応した配当を行うことを基本方針としております。また、一時的な業績変動の影響を受けない安定的な配当の実施に努め、株主への利益還元を充実させてまいります。

なお、計画期間については、上記の取り組みにより 2023 年 6 月期の連結業績予想は、売上高 62 億円、営業利益 2 億円、親会社株主に帰属する当期純利益 1 億円としており、この 2023 年 6 月期の業績予想の達成状況が時価総額に反映されることが予想される 2024 年 6 月期としております。

以上